



夢をつかむために

副校長 原島 謙一

10月17日(金)に大谷翔平選手は、ブルワーズとのナ・リーグ優勝決定シリーズ第4戦で投打二刀流の活躍を見せました。投げては七回途中10個の奪三振を奪い無失点でした。打っては3本の本塁打を打ってと異次元の活躍を見せ、MVPとなりました。

その後、大谷翔平選手は、もらったトロフィーを自分の家に持って帰るのではなく、チームのクラブハウスの中央に飾りました。そして、名前の刻印された部分を隠すように「TEAM EFFORT」(チーム努力)と書かいたメッセージを貼りました。みなさんは、この行動をどのように感じるでしょうか。

私は、本当に素晴らしい人間だと感じました。運動ができるだけでなく、人間として何と素晴らしいのでしょうか。この時、大谷選手が高校生の時に書いたマンダラチャートを思い出しました。中心に17歳時点での夢「8球団からドラフト1位で指名されること！」と甲子園に出てもないのに大きな夢をえています。この夢を兼ねるために8つの要素を考えています。この8つの内、5つはプロの野球選手になるための要素で、他の3つは誰もが参考になることだと感じました。そして、この要素を満たすために8つの行動目標を考えています。この3つだけ紹介したいと思います。

1つは、「メンタルを強化するためにすること」です。そのために、「はっきりとした目標・目的を持つ」「一喜一憂しない」「頭は冷静に、心は熱く」「ピンチに強い」「雰囲気になれない」「波をつくらない」「勝利への執念」「仲間を思いやる心」です。

2つ目は、「人間性の向上のためにすべきこと、持つべきこと」です。そのために、「感性」「愛される人間」「計画性」「思いやり」「感謝」「礼儀」「信頼される人間」「継続力」です。

3つめは、「運をつかむためにすべきこと」です。そのために、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「道具を大切に使う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」です。

一流のスポーツ選手になるために、これらのことを、17歳の時点で考え、実践を続けてきた結果の大活躍なのだとつくづく感じました。だからこそ、MVPも自分一人の力ではなく、チームのみんなで掴み取ったものだと言表できるのではないのでしょうか。

学校でも、子どもたちに夢をもたせ、それを叶えるために何が必要なのかを考える時間を設定していきたいと考えています。ぜひ、ご家庭でも子どもに夢を語る時間を設定してください。

伊那移動教室を終えて ～ 6 年生～

6 年生は、9 月 17 日(水)～19 日(金)の 2 泊 3 日、「自立」と「感謝」をテーマに長野県伊那市へ行きました！



【SA】おちろく T シャツ大活躍！



【みはらしファーム】昼食後、広い芝生でゴロゴロ！



【はし作り体験】やすりで形を整え、はんだこてで模様を付けました！



【民泊体験】農業や薪作りなど、東京ではなかなかできない様々な経験をすることができました！



【ますみが丘緑地】森林散策やクラフト体験を行いました！



- ・民泊先では、お手伝いを進んで行ったり、ご飯を残さず食べたりして「感謝」の気持ちを表せました。T・S
- ・民泊先で、じゃがいもを手作業で収穫するのが大変だったけれど、達成感を味わえました。Y・Y
- ・森には、いろいろな種類のきのこや、植物があることを学びました。I・Y
- ・民泊先の方とのお別れは悲しかったけれど、悲しいと思えるくらい素敵な体験ができて成長できました。M・S
- ・班の皆と意見を出し合って過ごしました。授業でも、全員が自分の意見を言い合えるクラスにしていきたいです。K・K